

令和5年度第2回宮城県図書館協議会 会議録

- 1 日時
令和6年2月29日（木） 午後3時から午後4時15分
- 2 場所
宮城県図書館研修室
- 3 出席委員 5人
佐藤義則会長、足立裕子委員、石垣政裕委員、狩野富士子委員、木下直委員
- 4 欠席委員 4人
草刈明美委員、石川俊樹委員、佐藤徳美委員、樋口千恵委員
- 5 事務局
青木館長、渋谷副館長、佐藤企画管理部長、竹内資料奉仕部長
佐藤副参事兼総括次長、江畑総括次長ほか
- 6 次第
 - (1) 開会
 - (2) 館長挨拶
 - (3) 職員紹介
 - (4) 副会長選出
 - (5) 会長・副会長挨拶
 - (6) 委員紹介
 - (7) 議事
 - ① 第4期宮城県図書館振興基本計画に係る令和5年度仮評価について
 - ② 令和6年度主要事業概要について
- 8 その他
- 9 閉会

配布資料

- 第4期宮城県図書館振興基本計画に係る令和5年度評価（仮）
- 令和6年度事業実施計画概要

副参事兼総括次長

本日はお忙しところお集まりいただきありがとうございます。

初めに、図書館協議会条例第6条第2項の規定により、委員の半数以上の出席が成立要件となります。本日は、5名の委員に御出席いただきましたので、本会は成立しますことを御報告いたします。

なお、本日の会議は、宮城県情報公開条例の規定により、原則公開で審議することとなっております。事務局としては本規定に従い、公開することとしたいと考えておりますが、御同意いただけますでしょうか。

(異議なしの声あり)

ありがとうございます。

本日の会議開催は、事前に告知しておりましたが傍聴希望者はおりませんでした。

それでは、令和5年度第2回宮城県図書館協議会を開催します。

初めに、当館館長の青木から挨拶申し上げます。

館長

委員の皆様には、御多忙のところ御出席いただきありがとうございます。

今年度も残り1か月となりました。当館では、現在、各事業における今年度のまとめや来年度に向けての準備を進めているところでございます。

さて、前回の協議会では、第3期宮城県図書館振興基本計画に係る令和4年度の評価や今年度の事業概要について報告し、皆様から貴重な御意見などをいただき、ありがとうございました。

本日は、第4期宮城県図書館振興基本計画の令和5年度実績に関する仮評価と令和6年度の事業計画につきまして報告させていただき、皆様の御意見を今後の図書館運営に役立ててまいりたいと考えております。

忌憚のない御意見をお願い申し上げます、私からの挨拶とさせていただきます。

副参事兼総括次長

続きまして、佐藤会長から御挨拶を頂戴します。

佐藤会長

開会に当たりまして、一言御挨拶申し上げます。

令和5年度第2回目の会議ということになります。委員の皆様には、日程を調整いただきまして、大変お忙しいところお集まりいただきました。ありがとうございます。

寒さが続いておりますが、その中でも春の光が少しずつ眩しく感じられるようになりました。本日は今年度最後の協議会ですので、来年度に向けて少しでも光を増して繋げられるような協議会になればと考えております。

さて、本日の議題については、さきほど館長から御紹介いただいたところでございますが、委員の皆様には率直な御意見をいただくとともに、円滑な運営に御協力賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

以上をもちまして私からの挨拶とさせていただきます。

本日はどうぞよろしくお願いいたします。

副参事兼総括次長

ありがとうございました。議事に入る前に、資料の確認をお願いします。

お配りしている資料は、資料1「第4期宮城県図書館振興基本計画に係る令和5年度評価(仮)」、資料2「令和6年度事業実施計画概要」でございます。

その他として、仙台フィルコンサートのチラシ、東日本大震災文庫展14、ことばのうみ第77号を配付しておりますので、御覧いただければと思います。

次に、本日の日程ですが、議事終了は概ね4時30分頃を見込んでおります。

それでは、議事に入ります。議事の進行は、図書館協議会条例第6条第1項により、会長が議長となることと規定されております。進行は佐藤会長にお願いいたします。

佐藤会長
それでは、議事進行を務めさせていただきます。
円滑な議事の進行に御協力をお願いします
まず初めに、議事録署名委員は、足立委員にお願いしたいと思います。よろしいですか。

足立委員
はい。お受けいたします。

佐藤会長
ありがとうございます。
それでは議事に入ります。第4期宮城県図書館振興基本計画に係る令和5年度仮評価について、事務局からお願いします。

企画管理部長
今回は、第4期計画の初年度となる令和5年度の間で行う仮評価です。
資料1ページの点検及び評価は、前回の協議会で承認いただいたものでございます。
2ページに基本計画の構成、3ページには、点検・自己評価の一覧を掲載しています。
4ページ以降が施策毎の評価シートで、目標指標や構成事業の実績に掲載している数値は、令和6年1月末で集計した暫定値です。
自己評価は、現在の実施状況から年度末を見込んで記載していますが、最終評価は今回の御意見を踏まえ、事業の実施結果、数値実績等を確認して必要に応じて加筆修正の上、令和6年度の協議会で報告いたします。

初めに、4ページ「市町村図書館等や学校教育への支援」についてでございます。
なお、事前に資料を配布しておりますので、主な取組、目標指標、構成事業の実績については、個別の説明を省略し全体の傾向、補足に止め、自己評価、課題と対応を中心に説明いたします。
また、目標指標の初期値はコロナ渦が明けていない時点で設定したもので、人数・件数などの多くは通常よりは少ない設定となっております。
施策1の目標指標の状況は現時点で増減がありますが、学校支援の取組に関するものが大きく増えています。
6ページの自己評価は、協力貸出冊数、子どもの本移動展示会など前年と同規模になる見込みで、学サポセットは活用が促進され、施設見学数も増加している状況から、「概ね順調」としました。
課題と対応は、子どもの本移動展示会の開催状況は回復してきたが、さらに広く開催を呼掛け、私立学校での実施も検討していきたいと考えています。

7ページ「読書活動の推進」についてでございます。
目標指標は何れも増加しております。8ページ中段の自己評価は、子供の本展示会、読み聞かせ研修会など、コロナの影響が収まり多くの方に来場いただき、児童書に対する興味・関心を高めることができたことから「順調」としました。
課題と対応は、子供の本展示会の会場でコロナ対策のため用意できなかった椅子を設置することや、よみきかせなどの活動をされている方々の要望から、研修講座の充実を図りたいと考えています。

9ページを御覧ください。「誰もが利用しやすい図書館サービスの推進と生涯学習への支援」についてでございます。
目標指標は、著しく減っているものではなく、全体として増加傾向です。なお、レファレンスは1月末現在の件数で、これから初期値に近づく見込です。
自己評価は記載しておりますとおり、リーディングトラッカー、リーディンググループを配置し、読書バリアフリーに関するサービスの充実に向けたこと、レファレンスサービスの公開も積み上げていることから「概ね順調」としました。

課題と対応は、図書館使い方講座の参加者数は増えているが、参加が無い回もあるので、内容を工夫していきたいと考えています。

12ページ「デジタル化に対応したサービスの充実」についてでございます。

目標指標の「叡智の杜Webの公開数」は順調に増えています。事業の実績としては、資料のデジタル化と、公開作業を進めており、自己評価は「概ね順調」としました。

課題と対応ですが、国の補助事業もあり、資料のデジタル化が大量に進んでいます。これらデジタル資料の公開は一度に多くの作業をすることは難しいのが現状ですが、着実に進めていくこととしています。

14ページ「社会貢献活動の場の創出」についてでございます。

目標指標は、ボランティア活動に係るもので、何れも微増あるいは横ばいとなる見込です。

自己評価は、ボランティア活動の場を提供しサポートしたほか、養成講座の開催や登録者数が増えていること、満足度が高く継続希望者が多いことから、充実した活動を提供できたと捉え「概ね順調」としました。

15ページの課題と対応は、よみきかせ団体の方々が、御高齢となっていますので、担い手育成のための取組を検討していきたいと考えています。

16ページ「幅広い資料の収集と適切な保管」についてでございます。

目標指標にあります、資料の受け入れ数は最終的には初期値と同程度になる見込です。

次のページの自己評価は、幅広い資料収集に努めていることや書庫のスペースが少なくなっていることに対して、短期的な対応となりますが書架増設などをして対応しており自己評価は「概ね順調」としました。

課題と対応は、今後も蔵書は増えていくので保管場所確保の方策について具体的な見直しを立てたいと考えています。

18ページの「県民が利用しやすい環境整備の推進」についてでございます。

目標指標の入館者数はこれから年度末までの間に大きく増えることは無いと思われませんが、企画展等については初期値から増加となる見込です。

事業の実績として、施設の修繕等を着々と実施し、マナーアップキャンペーンを展開、ご意見カードの満足度も高いことから、自己評価は「概ね順調」としました。

課題と対応は、施設老朽化の進行具合は設備ごとそれぞれで、予想外の故障等もあることから、優先順位を見直しながら修繕工事等を実施していきたいと考えています。

また、利用者のマナーは以前に比べ良くなっていますが、資料への書き込み等は無くないため、汚損、破損の防止など、本を大事にする意識を持ってもらえるよう、更に取り組んでいきます。

20ページ「社会の変化に応え、専門性を持って積極的に行動する職員の育成」についてでございます。

2つの目標指標は増加が確定であり、自己評価は「概ね順調」としました。

課題と対応は、図書館サービスは様々な取組が展開されているので、研修等に積極的に参加し、最新の図書館事情を収集、館内でフィードバックすることにより職員全体の専門性向上を図っていきます。

22ページ「郷土資料の適切な収集・保存と利活用の促進」についてでございます。

指標の数値は、順調に上昇し事業を着実に進めています。自己評価は「順調」としました。

課題と対応は、先の長い事業計画ですので、年度毎の予算を滞りなく計上するために関係課と連携を密にし、国の補助なども活用しながら、これからも貴重資料の修復・保存に努めていくこととします。

24ページ「東日本大震災関連資料の収集・整理と利活用の促進」についてでございます。

指標の数値は順調に増えており、メタデータを作成・公開して利活用を図ったことや多くの未公開資料を整理し、公開の手続を進めることができましたので、自己評価は「順調」としました。

課題と対応は、震災関連資料の出版などは減少していますが、今後も資料の収集に努め利活用を促進していきたいと考えています。

最後に、26ページ「点検・評価の総括」についてでございます。

現時点における仮の自己評価は「順調」が3、「概ね順調」が7で、最終評価は、委員の意見を踏まえて、今年度の実績を確認し令和6年度の当協議会で報告する予定です。

第4期宮城県図書館振興基本計画に係る令和5年度仮評価についての説明は以上でございます。

佐藤会長

ありがとうございます。只今の説明に対して、御質問や御意見などございましたらお願いいたします。いかがでしょうか。

木下委員

22ページの「郷土資料の適切な収集・保存と利活用の促進」について、目標指標にある「郷土論文目録登録件数」は順調に増えていると思いますが、構成事業の実績の部分ではどこに当たるのでしょうか。

宮城県に関する資料の網羅的な収集という点に当たるということでしょうか。

資料奉仕部長

収集した資料に宮城県に関する項目がある場合は、郷土論文として登録しております。構成事業の実績などの表記としては分かりづらいところですが、例えば、雑誌の中に宮城県に関する記事が載っていた場合は、当該記事が登録されるものでございます。

木下委員

人手をかけてメタデータをとって、データベースを作成しているのかと思いますが、数値として実績の中に積み上げが見えなかったのもったいないなと思いました。皆様のリソースをかけて行ったのであれば、実績に記載があって良いのではないかと思います。

館長

事業としては、図書館資料整備事業（再掲）の中で行っているものでございます。大きい括りの中で行っているため、見えにくくなっている部分があります。構成事業の実績の記載において、郷土関係論文目録登録件数を取り出して記載していないので、少し分かりにくくなっております。

木下委員

ありがとうございます。

足立委員

24ページの「東日本大震災関連資料の収集・整理と利活用の促進」について、公開コンテンツ数は増えていますが、利活用促進という点においてどの程度の利用があるのか見えると良いのではないかと思います。能登半島地震が発生したところですが、東日本大震災の情報があまり利活用されずに、当時と同じような課題が生じているように感じています。東日本大震災の情報をどのように利活用しているのかお伺いします。

資料奉仕部長

東日本大震災アーカイブ宮城のアクセス数は、1月の能登半島地震後、前月比の約3倍になるなど、大幅に増加しております。

コンテンツは自由にダウンロードできるので、授業など何らかの形で活用されていると考えていますが、具体的な利用方法までは把握しておりません。

震災文庫整備班長	東日本大震災関連資料の広報につきましては、今年度横浜で開催された図書館総合展でブースを開設したところでございます。来月開催される防災みやぎフォーラムにおいてブースを開設し、引き続き利活用の観点を踏まえ、アピールしたいと考えております。また、東日本大震災アーカイブ宮城については、国立国会図書館の「ひなぎく」と連携しているので、全国的な利用、海外からの利用も見受けられます。
足立委員	利用状況を数値で見えるような形で数値化することも必要ではないかと思えます。
資料奉仕部長	目標指数には挙げておりませんが、アクセス数などは把握しているので、検討させていただきます。
佐藤会長	<p>インプットの数字よりも、アウトプットとして、どれくらい使われたかという数字を前面に出していただいた方が、図書館事業のインパクトを社会に示すことができるのではないかと思います。</p> <p>ウェブのアクセスですから、コンテンツごとのランキングであるとか、IPアドレスを調べればどこの国からのアクセスであるかなど、調べれば分かるので、そのような分析を行っていただくと宮城県図書館の事業の理解に繋がるのではないかと思います。</p>
石垣委員	「市町村図書館等や学校教育への支援の充実」に関して、5ページの複製資料貸出事業として、県内高等学校等に複製資料を貸し出したということですが、どのような反響があったかといった情報は収集されていますでしょうか。
企画協力班長	アンケートに御協力いただき、貴重な資料に触れることができ、有意義であったなどの意見を頂戴しております。
石垣委員	生徒が複製資料に触れる機会を作ることによって、図書館に足を運びきっかけにもなると思うので、事業をどのように発信していくか考えるべきと思っています。
資料奉仕部長	<p>学校司書の会議に参加し、周知したこともありますが、この貸出事業を知っている、若しくは利用したことがある学校司書の方に偏りがあるのも事実であります。</p> <p>広報については、今後も工夫が必要であると考えています。</p>
石垣委員	6ページの自己評価欄の記載に関して、学サポセットを7セット追加したとありますが、内容あるいはテーマはどのように決めるのでしょうか。
児童・視聴覚班長	今回追加したものは戦争や震災などに関するセットを追加したところですが、社会状況を踏まえて適宜内容を検討しております。また、セットの中に、古くなってしまった本があれば随時入替等を行っているところです。
木下委員	目標指標に「学サポセットの貸出件数」と「学サポセット貸出件数（セット数）」とありますが、どういう違いがあるのでしょうか。
児童・視聴覚班長	貸出件数（セット数）は、1回の貸出で2セット・3セットの貸出を行う場合があるため、貸出件数と異なる件数になっております。
狩野委員	「市町村図書館等や学校教育への支援の充実」に関して、5ページの構成事業に、子どもの本移動展示会がありますが、この事業は希望した学校で展示されるのか、あるいは県内小中学校の順番が決まっていって回ってくるものなのかお伺いしたいです。

児童・視聴覚班長	<p>2月から3月にかけて、令和6年度移動展示会に係る募集を行っているところです。市町村図書館・公民館図書室・仙台市を除く公立の小中学校のうち、希望いただいた施設で展示を行うものです。</p>
狩野委員	<p>仙台市では、すべての小中学校に図書館司書あるいは図書館事務が配置されているため、蔵書管理や新刊の紹介など、工夫をしながら、読書推進の活動を行う環境が一定程度整っています。一方、他自治体のお話を聞く限り、職員の配置を含め、学校図書館の運営に差を感じているところです。この子供の本移動展示会事業は、学校図書館だけの運営では読書活動の推進力がないケースにおいて非常に有効な企画であると感じました。県内均等に行き渡るように、ブロック単位で巡回するような事業なのかと思います、お伺いしたところです。</p> <p>9ページの「誰もが利用しやすい図書館サービスの推進と生涯学習への支援」に関して、「誰もが」という点をお伺います。障がいがある方にとっても、楽しく、夢のある図書館であってほしいと思うのですが、どのような障がいがある方に、どのようなサービスを行っているのかお伺いします。</p>
資料奉仕部長	<p>「誰もが」はまさに誰もがということを目指しております。</p> <p>従前、図書館サービスは点字本、音訳サービスやオーディオブックなど、視覚に障がいのある方に対するサービスが多かったのですが、読書バリアフリー法では、視覚障害者等として定義され、肢体不自由などの障がいを含めた読書環境の整備・推進が規定されております。</p> <p>現在は、高齢者や字が読みづらい方に、リーディングトラッカーやルーペの貸出、大活字本の購入などを行っています。今後も多様なサービスを展開し、誰もが利用しやすい図書館サービスを実施していきたいと考えております。</p>
狩野委員	<p>足を運ばないと図書館を利用できないということにはなってほしくないのですが、例えば、足の不自由な方が本を借りたいときの方法などはあるのでしょうか。</p>
資料奉仕部長	<p>郵送貸出サービスを実施しております。</p>
狩野委員	<p>私は中学校の教員ですが、本に触れる時期が早ければ早いほど、認知能力を上げていくと言いますか、学習・意欲・夢を持つなど、本が大きな力を持っていると感じています。現に、図書館に来づらい人は居るわけですので、色々な人にそんなチャンスがあれば良いなと思います、「誰もが利用しやすい」という部分に注目しました。</p> <p>小さいお子さんがいるお母さんは連れて来るのが大変なケースもあると思います。我々が小さいときは、本を読むのが当たり前な環境がありましたが、今は家に本があるのだろうか考えると、早い段階で本に触れられる機会がある方が良いと思います、質問させていただきました。</p>
資料奉仕部長	<p>市町村図書館が行っているブックスタートのようなサービスは行っておりませんが、県図書館では、子ども図書室が独立したスペースになっているので、小さいお子様連れの御家族が来ても、比較的小互い様の状況があるように感じています。</p> <p>知的障がいを含め、様々な障がいのある方々に対して、どのようにサービスを周知するののかについては課題であると考えています。</p>
佐藤会長	<p>障がい者サービスはなかなか難しく、どこまで配慮するか、どこかで線を引かなければならず、悩みどころだと思います。目の不自由な方でも、点字が読める方は十数パーセントしかいらっしやらないという現実がありますので、点字サービスだけでは不十分であるわけですし、広く状況を確認しながらサービスを検討しなければならないと思われまます。</p>

石垣委員	「誰もが」という点に関連して、小・中学校や高等学校は比較的連携できる部分があると思います。幼稚園・保育園、特に小規模の保育園が増えており、例えば保育園とのコラボレーションといますか、子どもが絵本に触れる機会があれば素晴らしいと思いますので、そのような企画についてはどのようにお考えでしょうか。
資料奉仕部長	市町村図書館からの具体的なオーダーなどがあれば、市町村図書館への支援として何かしら実施できるかもしれませんが、県図書館として、直接的なサービスは行っておりません。
石垣委員	これまでは大きな保育園があって、図書室を備えている施設があったわけですが、小規模の保育園が増えている状況など、社会的な状況の変化を含めて備えていくべきではないかと感じています。
佐藤会長	御議論いただき、ありがとうございました。 今回は仮評価でございますので、いただいた御意見を事務局で記入の上、修正いただくこととなります。議事の1についてはそのように進めていただきます。ありがとうございました。 続きまして、議事2の「令和6年度主要事業概要について」事務局からお願いします。
資料奉仕部長	(令和6年度事業の概要説明)
狩野委員	4ページ・再掲で6ページにもありますが、よみきかせ等研修会は非常に良い事業だと思っていますので、是非継続していただければと思います。小さい頃に、本と出会う機会が多ければ多いほど子供たちの豊かさが変わっていくだろうと思います。 図書館内だけではなく、親子が集まるようなイベントに出張し、例えば、就学時検診などの会場で実施するなど、子供たちが本と出会う機会を増やす取組を各自自治体の図書館に呼び掛け、県図書館がその支えになっていただけたら素敵だなと感じました。
木下委員	4ページのビブリオバトルは全世代向けの読書活動でしょうか。それとも子供向けのものでしょうか。
企画協力班長	子ども向けのものではなく、大人の方も参加されています。
木下委員	令和5年度の実績を見ますと、バトラー6人、オーディエンス24人とちょっと寂しい印象を受けました。こんな素敵な空間でビブリオバトルをやれたら、さぞかし気持ちが良いと思うので、広報の部分で人をどれだけ巻き込めるかみたいところを頑張っていただければと思います。場所を生かすという観点からも、広報を拡大すればさらに愛される図書館になるのではないかと思います。 さきほどお話のあった東日本大震災関連資料のアウトプットですが、どうしても入館者数は減る一方かと思っておりますので、デジタル化の前提に立って、アクセス数やダウンロード数などのアウトプットを用いる方が有効であると思っております。
足立委員	5ページの「誰もが利用しやすい図書館サービスの推進と生涯学習への支援」の部分ですが、パスファインダーやレファレンスとか、カタカナ語が多くて、ウェブで調べないと分からないことがあります。業界では一般的なのかもしれませんが、調べ方案内とか分かりやすい方が良いのではないかと感じる場合があります。この辺から、利用しやすさという点を考えていただければと思います。 来館者が減少しているという話の中で、例えばですが、県図書館のユーチューブで在宅での利用の仕方を動画配信することによって、分かりやすさや利用しやすさに繋がるのではないかと感じます。

資料奉仕部長 確かに横文字については、私も最初は分からなかったのですが、分かるようになって説明をしなくなったことに改めて気付かされました。遠隔地の方の利用のしやすさについては、ホームページの強化なども含めた内容かと存じます。貴重な御意見ありがとうございます。

石垣委員 仙台フィルコンサートのチラシを見て、すごく良いなと思いました。本にまつわるエトセトラがたくさんあるのではないかと考えております。このようなイベントを積極的に行うことによって、活動が多彩になるのではと思います。
県図書館には紙芝居があると思いますが、昭和レトロな資料と組み合わせて展示するとか、青柳館で上映していくとか、もっと立体的に資料を活用していく作業が必要なのかなと感じます。

資料奉仕部長 映像資料として、16ミリフィルム等を所蔵しておりますので、図書資料を結び付けて活用する方策も検討したいと思います。

石垣委員 企画として、作家の方の本棚を紹介するとか、例えば、芥川賞を受賞した佐藤さんがどんな本を読んでいたのか、他の作家もどんな調査を参考にしていたのかなど、そういった本にまつわるエトセトラを含め、図書館職員方々が専門的な知識を投入し、おもしろい企画を考えてほしいと思います。

佐藤会長 この仙台フィルコンサートは、どういう経緯で企画されたのでしょうか。

児童・視聴覚班長 仙台フィルのオーボエの西沢さんから、地形広場を借りて行いたいという話があったのですが、図書館に多くの方を呼び込みたいと考えておりましたので、ベートーベンやモーツアルトの曲に絡んだ本を紹介しながら、エントランスでコンサートをやりましょうということになったものです。

佐藤会長 素晴らしい企画だと思います。是非何回か続けていただければと思います。
日本でも大学図書館で、バッハのコンサートを行ったことがあります。他では聞いたことはないです。
こういうイベントが広がっていくと楽しくて良いのではないかと思います。
他にございますでしょうか。

狩野委員 県図書館が頑張ってくださっているので、学校関係者にもきちんと伝えたいと思います。子供たちが宮城県をよく知って、郷土を愛して生活できたら良いだろうと思うので、先生方にも積極的に資料を活用するように伝えます。

佐藤会長 それでは、議事の2番目についても終了としてよろしいでしょうか。

(異議なしの声あり)

佐藤会長 ありがとうございます。
その他委員の方から何かございますでしょうか。

狩野委員 お知らせさせてください。
今年度、宮城県の読書感想文コンクール全国のチーム審査結果が、小・中・高校の全部門入選しております。賞の差はありますが、小学校低学年、中学年、高学年、中学校、高等学校の全校種において、全都道府県の作品が集まる中で、とても良い結果となりました。

特に中学生・高校生は本を読まなくなっているという懸念がありました。宮城県の小・中・高校生頑張っております。また、今回仙台市の読書感想文の審査を行ったのですが、久しぶりに古典の作品で読書感想文が上がってきました。仙台市の中学生が、万葉集を読んで、歌に込められた親心を我が母と重ねるような書きぶりでした。

本を読んでないと嘆くだけではなく、こういった良いニュースもあるので、お知らせさせていただきました。

佐藤会長

ありがとうございました。事務局から何かございますか。

それでは、以上で議事を終了いたします。円滑な議事進行に御協力いただき、ありがとうございました。以降の進行は事務局にお返しいたします。

副参事兼総括次長

議事進行ありがとうございました。

委員の皆様にはお忙しいところ御出席いただきありがとうございました。

以上をもちまして、令和5年度第2回宮城県図書館協議会を終了いたします。

本日はお疲れ様でした。